

国際トレンド



国際会計士連盟 (IFAC)
中小事務所委員会メンバー

ひぐちなおふみ

樋口 尚文

テクニカル・アドバイザー

なやともひろ

納野 知広

IFAC—中小事務所委員会 (SMPC) ニューヨーク会議報告

2017年2月13日から14日にかけて、国際会計士連盟(International Federation of Accountants: IFAC)の中小事務所委員会(Small and Medium Practices Committee: SMPC)のニューヨーク会議が行われた。本稿では、会議内容を報告する。なお、SMPCの会議は非公開であり、議題に関連する資料の公表も行われておらず、特別な場合を除いて傍聴も受け付けない前提であるため、限られた内容であることに留意されたい。

SMPCはIFAC内に設けられた組織であり、その活動は、IFACのウェブサイトのSMPCの紹介として、以下のように記述されている。

① 基準設定

SME(中小企業)及びSMP(中小事務所)に対して適用される国際基準について、安定性、関連性及び均衡をもたらすことを支援するために、国際的な基準設定プロセスに対して定期的かつ適時にインプットを行う。

SMPCのインプットを基礎として、IFACは、公開草案起草プロジェクトから公開草案公表後の開発プロセスのすべての主要な段階で、IAASB(国際監査・保証基準審議会)、IESBA(国際会計士倫理基準審議会)、及び、例えば、IFRS for SMEs(中小企業向け国際財務報

告基準)を開発するIASB(国際会計基準審議会)のような、その他の関連する設定主体に対してコメントレターを提出する。SMPCの代表は、IAASB、IESBA、及び両審議会の諮問アドバイザーグループ(CAG)のすべての会議を傍聴する。

② リソース及びツール

IFACは、SMPがグローバルな市場で競争することを支援するために、ツール及びリソースの共有を促進する。

SMPが利用可能なリソースのギャップを定めるために、調査活動とSMPCからのインプットを用いて、IFACは、最もニーズの高い領域について、SMPを支援するためにIFAC加入団体への実務的な支援策を提供している。

主要な包括的なガイドには、レビュー業務ガイドやSME監査におけるISAガイド等がある(別紙2参照)。

③ 対外活動

IFACは、SMP/SMEの代わりに、規制当局、基準設定主体及び政策決定者との対外活動を行っている。

IFACはまた、地域やグローバルな講演会(speaking engagement)、その他のアウトリーチ及びコミュニケーション活動(SMPに関連するプレスリリースやニュースの発信)などに参加することにより、SMPの認知度の向上を促している。

SMPCは、以上の主な3つの活動を行っているが、SMPCの想定だと、①基準設定が45%、②リソース及びツールが25%、③対外活動が30%程度の比率となっているようである。SMPCは、世界各国18名のメンバー及び18名のテクニカル・アドバイザー(TA)によって構成されている。メンバーの出身国は、南米1(議長)、ヨーロッパ5(副議長)、北米2、アジア3、中東2、アフリカ4、オセアニア1という構成で、全員が会計士である(所属は、会計事務所のパートナーが大半だが、会計士団体のテクニカル・ディレクターもいる)。地域別の多様性を考慮するために、メンバーとTAが違う国出身というケースも散見される

また、SMPCの活動は、メールや電話会議により行われるが、方向性の確認や情報共有のため、年3回は集合して会議を行う。IFAC本部外で開催される会議の際には、地域の関係団体(会計士協会・会計事務所など、SMP/SMEに関する組織)と共同でSMPフォーラムを開催することが多い。

SMPCは設立から10年以上経過しているが、今回初めて、日本公認会計士協会(JICPA)から、会議にメンバーとして参加することとなった。

なお、外国のSMPにおいては、業務の内容(監査・税務・アドバイザー)を問わず、そのクライアントのほとんどはSMEと考えられる。一方、日本の場合は、中小の監査法人は上場会社や会社法に基づく法定監査が主たる業務であり、しかも、上場会社の関与社総数も1,000社近くになるため、世界からみると、日本の監査市場はかなり特殊な状況であることにも留意が必要である。

1 イントロダクション

2017年に、イタリアのGiancarlo Attolini氏からブラジルのMonica Forester氏に議長が交代したため、新議長から就任の挨拶が行われた。また、副議長にはスウェーデンのMats Olsson氏が就任した。

次に、イタリア及び日本からの新メンバーの紹介が行われた。

最後に、2016年10月に行われたSMPC会議議事録の承認がなされた。

2 IESBAアップデート

SMPCとのリエゾンを担当するIESBAメンバーのBrian Caswell氏及びIESBAスタッフから、2016年12月のIESBA会議報告と、現在進行中及び今後のプロジェクトの紹介が行われた。IESBA会議の詳細な内容は、加藤厚IESBA前メンバーから別途報告されているため¹、そちらに譲る。

主な議題は以下のとおりである。

- ・ 長期的関与プロジェクト

- ・ セーフガード(フェーズ2)
- ・ その他(倫理規程の再構成、職業的懐疑心、報酬など)

3 SMPサーベイ

SMPサーベイの結果報告書のドラフトについて、Dayton大学経営管理大学院のDonna Street教授から報告が行われ、また、関連する討議も行われた。SMPサーベイは23の言語で行われており、2016年の10月1日に開始され、同年11月30日に終了し、164か国の5,060名により回答が行われた。報告書本文によると、日本からの回答者は50名であった。IFACウェブサイトのGlobal Knowledge Gateway(別紙1参照)に掲載されているので、興味があればレポートの全文(英語)²をご覧ください。

主要な回答結果は[表1]のとおりであった。

4 プレゼンテーション

メリーランド州会計士協会会長の

[表1]

調査及び回答者の状況	ヨーロッパが38%、アジアが28% 業務サイズ:個人事業主が35%、パートナー及びスタッフ数が2人~5人の事務所が36% 回答者の女性比率:28%
SMPが直面する課題(11の質問事項)	High及びVery Highの比率が高いもの:「新しいクライアントにとつての魅力を高める(46%)」、「新しい規制、基準(41%)」、「報酬減の圧力(41%)」 一番低いもの:事業承継の計画(23%)
SMPに影響する環境要因(8の質問事項)	High及びVery Highの比率が高いもの:「規制環境(56%)」、「技術の発展(52%)」、「競争(48%)」 一番低いもの:「会計業界のM&A等(33%)」
2016年のパフォーマンス:4業務 ³	33%~37%:業務報酬は昨年並み 26%~31%:微増
2017年の予想:4業務	38%~45%:来年増加と予想 30%~33%:横ばい
2016年の中小企業の課題	High及びVery Highの比率が高いもの:「経済の不確実性(61%)」及び「コストの増加(59%)」

Tom Hood氏からSMPCに向けて、「The Anticipatory CPA-How to get ahead and stay ahead (公認会計士の将来について—どうやって未来に向かうのか)」と題したプレゼンテーションが行われた。

Hood氏の講演は5つのステップで構成されていた(①変化を主導し、②デジタル化し、③スキルを伸ばし、④コアとなるものを守り、⑤流行にのることを楽しむ)。

この講演で再認識させられたのは、テクノロジーの利用について、今後はSMPといえども避けて通ることができないということである。IFACでは、テクノロジーの利用について相当意識しているようである。日本の中小事務所はこの流れについていけるのかどうか、ついていく必要があるとして、どのような施策が必要かについて、IFAC・SMPCの動向なども踏まえて、早めに対処しておく必要があるという感想を持った。テクノロジーの利用とは、具体的には、データ分析や単純作業をITの利用に置き換えることで、必要な領域に職業的判断を行使していき、監査その他の業務の効率性や有効性を高めることのようなものである。

なお、Hood氏の講演内容は、IFACのウェブサイトアップロードされているため、興味があれば閲覧いただきたい⁴。

5 IFAC SMPCのウェブサイトのアップデート状況報告

IFACのウェブサイトに含まれる“Global Knowledge Gateway”の担当Editorから、「Accountancy and the Emerging Technology Culture (会計専門家と新たに発生しているテクノロジー文化)」と題したプレゼンテーションが行われた。

6 IFAC SMP-SME Work Plan

2017年のWork Plan(作業計画)として、下記の項目が提案された。

- ①Global Knowledge Gatewayへの貢献、②実務的な支援策の提供(ツールの開発とメンテナンス)、③情報収集、④SMPの認知度の向上
- Global SMP Surveyの活用における将来モデルの構築
- ITなどの技術の活用
- IESBA/IAASBへのインプット

以上の議論の結果、2016年の作業結果と2017年の作業計画は承認された。

7 IAASBアップデート

IAASBの最近の活動について、IAASBメンバーのBrendan Murtagh氏から報告が行われた。会議自体の詳細は住田清芽IAASBボードメンバーと甲斐幸子IAASBテクニカル・アドバイザーから別途報告されているため⁵、そちらに譲る。

Brendan氏からは2017年1月に行われたパリでのSMP/SMEカンファレンスに関するフィードバック、IAASBの2017年から2018年の作業計画、IAASBの現在のプロジェクト、及びAUP(合意された手続)に関して説明が行わ

〔表2〕

	名称	活動内容
①	Public Policy and Regulation Task Force (PPRTF)	公共政策及び規制当局対応
②	IAASB Rapid Response Task Force (IRRTF)	IAASB(監査基準)対応
③	Ethics Task Force (ETF)	IESBA(倫理規程・独立性基準)対応
④	Implementation Guidance Task Force (IGTF)	適用ガイダンス作成
⑤	SMP Business Support Task Force (SBSTF)	中小事務所事業支援
⑥	Strategic Planning Task Force (SPTF)	SMPCの戦略計画・実施

れた。

8 ICAEWのツールの紹介

ICAEWのウェブサイト上にあるページ「IAAE(International Accounting, Auditing & Ethics)」の利用方法等に関して、SMPCの委員であり、ICAEWのテクニカル・ディレクターであるKatharine Bagshaw氏から説明があった。IAAEは、会計、監査、及び倫理に関して国際基準の適用をサポートするリソースを提供するページであり、無料部分と有料部分が混在する。詳細は、ICAEWのウェブサイト⁶を参照されたい。

9 SMPC内の各タスク・フォースでの議論

SMPCメンバーは、〔表2〕のタスク・フォースのうち、2つ又は3つに参加する必要がある。

筆者は、〔表2〕のうち②及び③に参加した。今後は、IESBA及びIAASBの基準設定等に対し、公益の促進のため、SMPの観点からの意見発信に協力することになる。

1 Global Knowledge Gatewayについて

IFACのウェブサイトの一部を構成する“Global Knowledge Gateway”は、職業会計士のみならず、学生、会計士団体、会計事務所、規制当局、基準設定者、学者等が、IFAC及びメンバー組織等の関連するニュース、見解、及びリソースに容易にアクセスすることを可能にするサイトである。世界中の関連するリソースに容易にアクセスできるだけでなく、職業会計士の新しい領域に関してリーダーや専門家から学ぶ、最も緊急な会計関連のニュースや今後のイベントに接する、意見交換や会計士の国際的なコミュニティの設立に寄与するといったことも可能にする。内容は、現状では、監査・保証、事業報告、倫理、財務分野のリーダー及び発展、ガバナンス、イスラム金融、パフォーマンス及び財務管理、業務管理、リスク管理及び内部統制、並びにサステナビリティの10種類に区分されている。

登録すれば、誰でも閲覧可能な資料も格納されており、SMPやSMEに限らず国際的な会計・監査の動向や資料(下記2のガイダンスなど)に関心のある方は、ご覧いただきたい。IFACのウェブサイトを参照のこと(<https://www.ifac.org/>)。

2 SMPCが作成するガイダンスの紹介

SMPCが作成するガイダンスには、以下が含まれる。IFAC加盟国の会計士団体や所属する中小事務所ではこのガイダンス等を活用して監査・保証実務の運用に役立っているようである。

名称	邦訳	公表月	頁数
Guide to Review Engagements	レビュー業務ガイド	2013年12月	134
Guide to Using International Standards on Auditing in the Audits of Small- and Medium-Sized Entities, Third Edition	中小企業監査における国際監査基準利用ガイド(第三版)	2011年11月	566
Guide to Quality Control for Small- and Medium-Sized Practices, Third Edition	中小事務所のための品質管理ガイド(第三版)	2011年7月	171
Guide to Practice Management for Small- and Medium-Sized Practices, Third Edition	中小事務所のための業務管理(第三版)	2012年12月	507

※ 上記ガイダンス以外にも、SMPCでは様々な資料を用意しているため、適宜紹介したい。資料は、IFACの許可を得れば邦訳も可能なため、今後、翻訳の検討をしたい。

<注>

- 1 加藤 厚「国際会計士倫理基準審議会 (IESBA) ニューヨーク会議報告」会計・監査ジャーナル2017年4月号96頁以下
- 2 <https://www.ifac.org/publications-resources/2016-ifac-global-smp-survey-report-summary> (2017年3月26日閲覧)

- 3 監査・保証業務、コンサルティング業務、税務、及び経理支援等
- 4 <http://www.ifac.org/global-knowledge-gateway/practice-management/discussion/5-steps-being-anticipatory-accountant> (2017年3月8日閲覧)
- 5 住田清芽・甲斐幸子「国際監査・保証基準審議会 (IAASB) 会議報告 (第81回

- 会議)」会計・監査ジャーナル2017年4月号24頁以下
- 6 <https://www.icaew.com/en/international-accounting-and-auditing> (アクセス権が必要、2017年3月8日閲覧)